

PF研究会

「X線分光理論の新展開：構造・電子状態解析から磁性研究まで」

日時：2019年10月3日（木）午後～4日（金）夕方
会場：KEKつくばキャンパス 研究本館 小林ホール
共催：豊田理化学研究所 特定課題研究

詳細 →
WEB登録



提案代表者：畑田圭介（富山大学理工学研究部），宮永崇史（弘前大学理工学部），岡林潤（東京大学大学院理学系研究科）
所内世話人：雨宮健太，阿部仁（物構研）

日本はアメリカと並び世界トップクラスの数の放射光施設を備え、ユーザーの数も多いが、理論研究の面ではアメリカ、イタリアが伝統的に先行し、それに続きイギリス、オランダ、日本が続いている。理論計算プログラムはアメリカで

開発されたFEFFが世界シェアを持っており、他にも海外で開発された計算プログラムが主に使われている。科学の進歩には実験と理論の両輪の進展が重要であるという歴史的事実を踏まえ、この現状を改善し、国内での理論研究並び

に理論解析を発展させるために、国内外のシンクロトロン放射光分光理論研究者を集め研究会を開く。多重散乱理論の専門家である畑田と実験並びに理論を研究する宮永、岡林が主催者となり、XANES及びEXAFSの理論、さらには磁性研究の発展に資するXMCDの理論も含め、国内外の理論研究者に講演を依頼する。多重散乱理論、多重項、分子軌道法的手法、さらに定性的理解に着目したモデルハミルトニアン等についても議論する。また、計算プログラムによるチュートリアルも行う。理論研究者のみならず、放射光を利用した実験研究者に対しても示唆に富む研究会を目指す。

1日目 10月3日(木)

Scattering methods

13:00~

- 1) Didier Sébilleau (CNRS-Université de Rennes 1)
- 2) Fabio lesari (SAGA Light Source)
- 3) Peter Krüger (千葉大学)
- 4) 畑田圭介 (富山大学)

Model Hamiltonian+Magnetic

15:50~

- 5) Gerrit van der Laan (Diamond Light Source)
- 6) 溝川貴司 (早稲田大学)
- 7) 長尾辰哉 (群馬大学)
- 8) 田口宗孝 (東芝ナノアナリシス(株))

ポスターセッション

18:00~

2日目 10月4日(金)

量子化学

9:30~

- 9) 藤川高志 (千葉大学)
- 10) 池野豪一 (大阪府立大学)
- 11) 中谷直輝 (首都大学東京)
- 12) 太田路子 (富山大学)
- 13) 山崎 馨 (東北大学)

チュートリアル FPMSプログラムの実例計算 13:30~

重要な締切：

ドミトリー・旅費申し込み：
9月13日(金)12時、Web参加
申し込み：9月27日(金)12時、
ポスターセッション(兼 懇親
会)参加申し込み：9月27日
(金)12時 ※ポスター発表を
希望される場合は、9月20日
(金)までにお申し込みの上、
要旨をご提出ください。

問い合わせ先： 研究会事務局 (pf-kenkyukai@pfqst.kek.jp)